

2024年度ブルーカーボン量（湿重量、含水率、P/B比） 神前浦

【対象面積の海藻類について】

イソモクが優占している。

その他にオバクサ、フクロノリ、ヒロメ、ウミウチワ、シラモ、ミリン、イバラノリ科などが見られた。

また、2月頃には一面をウミウチワが覆う。

【湿重量の計測】

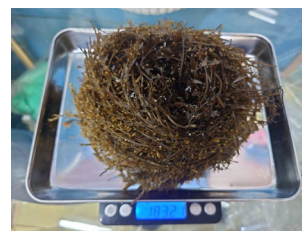
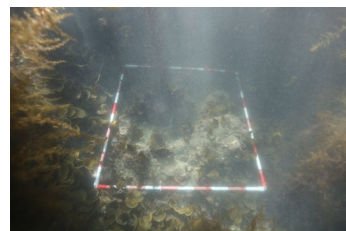
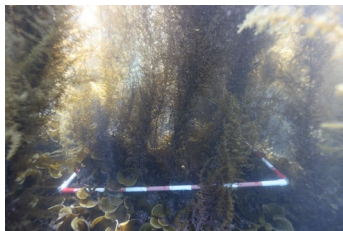
ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が生育する場所（被度95%）において1m方形枠を設置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測した。

【含水比の算出】

採取した海藻のうち一部の海藻を十分に乾燥させ、重量を測定して乾重量/湿重量より含水率を算出した。

【P/B比の算定】

横山ほか、1999の文献および採取した海藻の高さからP/B比を算定した



※袋重量0.15kg含む

単位面積当たりの湿重量：9.89kg/m²
9.89 × 10 = 98.9t/ha

湿重量 ⇒ 乾重量
80°Cで94時間

241.87 g ⇒ 46.45 g

183.21 g ⇒ 40.18 g

含水率：平均79.43%

【イソモク】
P/B比：1.5

2月頃、
全体を覆う
ウミウチワ

【確実性評価について】

ツボ狩り時において、全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えづらい為、ある程度の長さを残している。そのため、湿重量及び含水比、P/B比に対して過小評価を行っており、吸収係数に係る自己評価を100とする。